

藤枝市教育委員会

令和4年3月臨時会会議録

藤枝市教育委員会 令和4年3月定例会会議録

- 1 開 催 日 令和4年3月1日
- 2 場 所 藤枝市教育委員会 教育長室
- 3 会議に附した事項 (別紙のとおり)
- 4 出席委員 教 育 長 中村 禎
教育長職務代理者 山田 美穂子
委 員 牧田 伸明
委 員 野中 進
委 員 永田 奈央美
- 5 欠 席 委 員
- 6 出席した事務局職員 教 育 部 長 安達 剛正
教 育 政 策 課 長 杉原 一行
学 校 教 育 監 梶川 佐知子

教育委員会 令和4年3月臨時会

日 時 令和4年3月1日 午後1時30分
場 所 藤枝市教育委員会 教育長室

1 開 会 午後1時30分

2 会議録署名委員氏名 永田奈央美委員、山田美穂子委員

3 日程第1

第3号議案 第2期藤枝市小中一貫教育推進計画の策定について
第4号議案 令和3年度末県費負担教職員の人事の内申について

4 閉 会 午後2時30分

日程第 1

第 3 号議案 第 2 期藤枝市小中一貫教育推進計画の策定について

牧田委員

小中学校が育てたい子供像を共通理解して、地域の力を借り、授業づくりを中心に活動していくこの取組みはとても良いことであるから、地道にこれからも成果を積み上げていってほしい。

野中委員

地域の様々な人を参画させていくことが重要であり、実際にお子さんが学校へ行っている方は良いが、お子さんが学校を卒業した方や、お子さんがおられない夫妻を自治会などが巻き込んで参画させていきたい。

教育政策課長

現在見守りは役を設けて行っている自治会もあるので、あいさつ運動と見守りがうまく連動していきたい。

山田委員

小学校から中学校へ進学する不安の解消が前面に出ている計画であり、学校に行きたくなるほどの不安は解消してあげたいと思うが、新しい社会に入っていくときにちょっとした不安やドキドキ感はとても重要であると思うので、ある程度の障害は残し、子供がステップアップできるようなものとしてもらいたい。

教育政策課長

不安がある子供の何が不安なのか、そこが重要と考える。アンケートはその時の子供の置かれた状況により左右される。学校に行けなくなるような不安は早急に対応をしなければならないので、しっかり見定めていく。

永田委員

24 ページの進捗管理表の (2) ⑤と (3) ⑤の違いはあるのはわかるが、採点する際は同じ項目のように感じられないか。

教育政策課長

(2) は子供の学力の習得に ICT を活用してどのように進めたかであり、(3) は例えば小中一貫の取組みである乗り入れ授業の ICT 活用などのように、学校間の交流を通じた人間の育成である。

永田委員

(2) は学校間をつながなくても ICT を活用した学力の習得は可能ではないか。採点側が学校間をつないでいるか見えてしまう恐れがある。

教育政策課長

この計画が小中一貫教育推進となるので、学校単位で完結するような指標となりづらい。委員が言うように評価の側に立っ手文言の修正も検討する。

永田委員	Eカルテと言って病院のカルテのように、生徒一人ひとりの成績や性格などデータをカルテとして管理するものがあり、中学校へ進学する際も中学校の先生が見ることができる。大学でも学生番号で見ることができ担当以外の出席がどうだなど活用できている。
教育政策課長	本市の小中一貫教育は、小1から中3までの各教科でのカリキュラムを作成している。先生はそのカリキュラムに沿って、学年ごとの育成を進めているため、小学校から中学校に進学する際の子供の情報は把握している。
永田委員	どういった管理がされていて、どう共有がされているか教えてもらいたい。
教育政策課長	確認して、報告したい。

第4号議案 令和3年度末県費負担教職員の人事の内申について

| 秘密会

閉 会 午後2時30分